



# 第118期 報告書

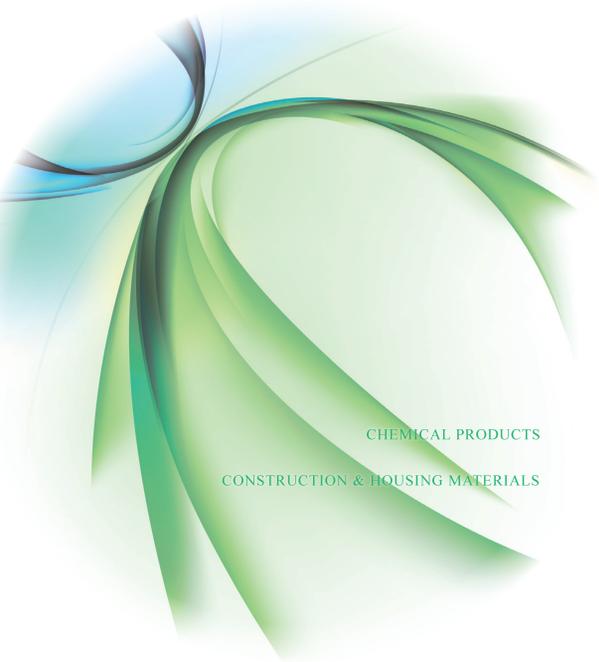
[平成29年4月1日～平成30年3月31日]

CHEMICAL PRODUCTS

CONSTRUCTION & HOUSING MATERIALS

**アイカ工業株式会社**

証券コード 4206



CHEMICAL PRODUCTS

CONSTRUCTION & HOUSING MATERIALS

## CONTENTS

---

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 財務情報	5
連結決算	
連結貸借対照表／連結損益計算書	
連結株主資本等変動計算書／連結キャッシュ・フロー計算書	
単独決算	
貸借対照表／損益計算書	
株主資本等変動計算書	
■ 企業活動のご案内	9
■ 会社の概要	12
■ 株式の状況	13
■ 株主メモ	14

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社グループ第118期(自平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)の営業の概況をご報告申しあげます。

当連結会計年度の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、円高の進行や中東・東アジアの政治的緊張の影響が懸念されるなか、堅調な輸出や設備投資に支えられた企業業績の回復、雇用環境の改善などにより、緩やかながら景気の回復が続きました。

また、アジア・オセアニア地域の経済は、インドでは税制変更に伴う景気の減速が見られたものの、中国ならびにインドネシアなどのアセアン地域は、好調な輸出や個人消費に支えられ概ね堅調に推移しました。

国内建設市場においては、賃貸住宅の供給過剰感から借家や持家の着工が一服し住宅着工件数が減少に転じました。非住宅関連は、企業の設備投資やインバウンド効果による工場・倉庫やホテルの新築・改修需要を背景に着工面積の回復が見られました。

このような経営環境のもと、当社グループは、中期経営計画「C&C 2000」の方針に基づき、社会的な課題の解決に貢献する商品群の拡充、次世代を担う注力分野の育成、アジア・オセアニア地域における接着剤やメラミン化粧板の販売強化などを推進いたしました。この結果、当連結会計年度の業績は、売上高163,726百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益19,092百万円(同5.5%増)、経常利益19,600百万円(同6.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益11,996百万円(同8.4%増)となりました。

なお、期末配当金は、業績を鑑み当初公表の48円から2円増額の50円とし、中間配当金と合わせた年間配当金は、1株当たり92円といたしました。

今後の景気動向につきましては、国内経済は、政府や日銀の経済・金融政策による下支えを背景として企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復が続くことが期待される一方で、海外経済の不確実性、為替の変動、原油価格の上昇の影響に留意する必要があります。

国内建設需要は、住宅着工戸数に弱さがみられる

ものの非住宅建設市場に回復傾向がみられ、全体としては横ばいで推移する見通しですが、技術労働者不足や原材料価格の高騰、建築資材価格の高止まりなど、経営環境は先行き不透明な状況です。

アジア・オセアニア地域の経済は、景気拡大ペースは鈍化すると予測されるものの、日本国内市場と比較すると高い成長率が期待できます。一方、利益面においては、原材料価格の上昇や新興国通貨に対して円高が進行した場合には、収益を圧迫する懸念があります。

当社グループは、このような経営環境を十分認識し、社会的な課題の解決に貢献する商品群の拡充、次世代を担う注力分野として機能材料事業の強化などを推進してまいります。また、海外展開の一環として、化粧板製造子会社「アイカ・ラミネーツ・ベトナム社」、海外建装建材事業の統括会社「アイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング社(タイ)」を設立しました。さらに、ウレタン樹脂などの製造販売会社「エバモア・ケミカル・インダストリー社(台湾)」を子会社化し、当社子会社であるアイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社を通じて接着剤・可塑剤製造販売会社「タイ・ケミカル・コーポレーション社」の株式を取得いたしました。今後はこれら新拠点を有効に機能させ、海外事業のより一層の拡大を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月



代表取締役 社長執行役員

小野 勇治

# セグメント別のご案内

## 化成系セグメント

接着剤系商品は、国内においてはフェノール樹脂系の合板用接着剤や、施工用接着剤が好調に推移するとともに、海外においてもアジア・オセアニア地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができた結果、売上を伸ばすことができました。

建設樹脂系商品は、建築・土木用の補修・補強材や工場・倉庫用の塗り床材は好調に推移しましたが、新築住宅向けの外装・内装仕上塗材「ジヨリパット」や住宅ベランダ向け防水材が低迷したことなどから、売上が前年を下回りました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、国内太陽光発電市場の低迷によりホットメルトが前年を下回ったものの、化粧品や拡散材用途の有機微粒子、繊維・紙加工用途のアクリル・コンパウンド商品が好調に推移し、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は82,911百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は6,537百万円(同5.0%増)となりました。



環境配慮型接着剤  
Fフォースター  
(F☆☆☆☆)対応  
アイエコエコボンド



ダイナミックレジン タフレジン クリアガード工法  
物件名: 神奈川県庁新庁舎(外壁改修)

## 建築建材セグメント

メラミン化粧板は、国内においては、高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性をもつ「セルサス」や、メラミン化粧板の強さとフィルムの施工性を兼ね備えた粘着剤付メラミンシート「メラタック」など特長のある商品が好調で、売上を伸ばすことができました。また、海外においても、インドやインドネシア、中国、タイ、ベトナムを中心に売上を伸ばすことができました。

ボード・フィルム類は、汎用的なポリエステル化粧合板や、加工品を拡充した粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」関連商品が好調で売上を伸ばすことができました。

メラミン不燃化粧材「セラール」は、キッチンパネル用途を中心に、教育施設や店舗・ホテルの改修需要、オフィス・工場・倉庫の新築需要を獲得するとともに、駅のトイレや医療福祉施設などでは「セラール消臭タイプ」の採用が拡大し、売上を伸ばすことができました。



メラミン化粧板

物件名: タカシマヤ ゲートタワーモール 客用トイレ  
施工主: 株式会社ジェイアール東海高島屋  
客用トイレ設計: 有限会社設計事務所ゴンドラ  
施工工: 高島屋スペースクリエイツ株式会社



粘着剤付  
化粧フィルム  
*Altyno*  
(オルティノ)

物件名: ブラウドタワー名古屋栄  
設計: 清水建設株式会社名古屋支店一級建築士事務所  
施工: 清水・大日本土木建設共同企業体  
デザイン監修: 光井純&アソシエーツ建築設計事務所株式会社  
撮影: 黒住直臣

不燃建材は、汎用性の高いアクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト・カラー」や、耐摩耗性・耐薬品性に優れる不燃ボード「マーレス不燃」を中心に、教育施設や医療福祉施設、工場・倉庫などの需要を取り込み、売上を伸ばすことができました。

カウンター・ポストフォーム商品は、メラミン化粧板を曲面加工（ポストフォーム加工）したカウンターや扉、人工大理石「コーリアン」、高級人造石「フィオレストーン」が好調に推移し、売上を伸ばすことができました。特に、幼児用手洗いカウンターは保育施設の新設需要を取り込み大きく売上を伸ばしました。

建具・インテリア建材は、医療福祉施設に適した機能引戸「U.D.（ユニバーサルデザイン）コンフォートシリーズ」や、非住宅施設向けのトイレブースが好調でしたが、住宅向けの建具シリーズが前年を下回り、売上は前年を下回りました。

このような結果、売上高は80,815百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は15,623百万円（同7.8%増）となりました。



### 不燃化粧材 CERARL（セラール）

物件名：JR上野駅  
設計：東日本旅客鉄道株式会社  
東京支社 東京建築技術センター  
撮影：株式会社エスエス企画

### キッズ洗面セット

物件名：ネットヨタ愛知 プラザ緑  
施工主：ネットヨタ愛知株式会社  
設計：中日設計株式会社  
撮影：有限会社スタジオイオ  
（瀬口吉則）



## 茨城県に『フィオレストーン』の加工工場を新設

キッチンや洗面台の天板は、天然石の結晶を樹脂などをつなぎにして混合、圧縮、研磨した人造石「エンジニアドストーン」が世界市場でシェアを拡大しています。

当社は2011年、エンジニアドストーンの中でも天然水晶を主原料としたクォーツストーンの国内初のオリジナルブランド「フィオレストーン」（※フィオレとはイタリア語で花の意味）を発売しました。「フィオレストーン」は、高級マンションを中心にキッチンのワークトップでのシェアを徐々に拡大し、非住宅市場（オフィス・商業施設・ホテル・駅・空港など）の受付カウンター、洗面カウンター、ライニングカウンターなどに採用され、用途を広げることで、クォーツストーン国内シェアNo.1のブランドに成長しています。

当社グループは、「フィオレストーン」をキッチンや洗面台として加工・出荷する工場を、茨城県古河市に所在する茨城工場内に新設し、2019年1月に稼働を開始いたします。茨城県に拠点を設けることにより、首都圏の堅調なマンション建設に加えて、東京五輪に向けた公共施設やホテル整備での採用に向け営業活動を推進してまいります。



高級人造石  
Fiore Stone  
（フィオレストーン）

## 連結決算

### ● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成30年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成29年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>131,260</b>	<b>115,338</b>
現金および預金	49,521	47,646
受取手形および売掛金	59,259	50,549
たな卸資産	16,000	12,150
繰延税金資産	1,060	988
その他	5,608	4,283
貸倒引当金	△189	△281
<b>固定資産</b>	<b>59,226</b>	<b>49,296</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>38,464</b>	<b>30,024</b>
無形固定資産	2,855	3,259
<b>投資その他の資産</b>	<b>17,907</b>	<b>16,012</b>
投資有価証券	16,287	14,510
繰延税金資産	267	247
その他	1,370	1,272
貸倒引当金	△17	△17
<b>資産合計</b>	<b>190,487</b>	<b>164,634</b>

### ● 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成29年4月1日～ 平成30年3月31日)	前連結会計年度 (平成28年4月1日～ 平成29年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>163,726</b>	<b>151,633</b>
売上原価	116,112	106,134
<b>売上総利益</b>	<b>47,614</b>	<b>45,499</b>
販売費および一般管理費	28,521	27,399
<b>営業利益</b>	<b>19,092</b>	<b>18,099</b>
営業外収益	1,426	1,110
営業外費用	919	836
<b>経常利益</b>	<b>19,600</b>	<b>18,374</b>
特別利益	—	96
特別損失	—	268
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>19,600</b>	<b>18,201</b>
法人税、住民税および事業税	6,510	6,190
法人税等調整額	△185	△97
<b>当期純利益</b>	<b>13,275</b>	<b>12,108</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	1,278	1,044
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>11,996</b>	<b>11,064</b>

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	当連結会計年度 (平成30年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成29年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>49,579</b>	<b>38,596</b>
支払手形および買掛金	26,127	21,541
電子記録債務	6,058	4,456
短期借入金	4,052	1,314
未払法人税等	3,492	3,255
賞与引当金	1,763	1,760
その他	8,086	6,268
<b>固定負債</b>	<b>8,291</b>	<b>6,352</b>
長期借入金	777	532
繰延税金負債	4,136	2,721
退職給付に係る負債	1,406	1,190
その他	1,971	1,908
<b>負債合計</b>	<b>57,871</b>	<b>44,949</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>114,917</b>	<b>108,726</b>
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,279	13,271
利益剰余金	93,756	87,570
自己株式	△2,011	△2,007
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>7,828</b>	<b>6,172</b>
その他有価証券評価差額金	5,402	4,222
繰延ヘッジ損益	△4	△9
為替換算調整勘定	2,187	1,822
退職給付に係る調整累計額	243	137
<b>新株予約権</b>	<b>36</b>	<b>36</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>9,833</b>	<b>4,749</b>
<b>純資産合計</b>	<b>132,616</b>	<b>119,685</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>190,487</b>	<b>164,634</b>

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ● 連結株主資本等変動計算書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				株主資本 合計	その他の包括利益累計額					新株 予約権	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
平成29年4月1日残高	9,891	13,271	87,570	△2,007	108,726	4,222	△9	1,822	137	6,172	36	4,749	119,685
連結会計年度中の 変動額													
剰余金の配当			△5,810		△5,810								△5,810
親会社株主に帰属 する当期純利益			11,996		11,996								11,996
自己株式の取得				△3	△3								△3
その他		8			8								8
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					－	1,180	5	365	105	1,656	－	5,083	6,739
連結会計年度中の 変動額合計	－	8	6,186	△3	6,191	1,180	5	365	105	1,656	－	5,083	12,931
平成30年3月31日残高	9,891	13,279	93,756	△2,011	114,917	5,402	△4	2,187	243	7,828	36	9,833	132,616

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成29年4月1日～ 平成30年3月31日)	前連結会計年度 (平成28年4月1日～ 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,436	18,331
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,950	△3,269
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,406	△4,587
現金および現金同等物に係る換算差額	194	△324
現金および現金同等物の増減額	1,274	10,150
現金および現金同等物の期首残高	47,622	37,449
現金および現金同等物の期末残高	48,896	47,622

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ● 売上高

(単位:百万円)



## ● 経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



## 単独決算

### ●貸借対照表

科 目	第118期	第117期
	(平成30年3月31日現在)	(平成29年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>81,098</b>	<b>80,305</b>
現金および預金	28,238	32,106
受取手形および売掛金	41,906	38,057
たな卸資産	5,985	5,086
繰延税金資産	801	720
その他	4,174	4,342
貸倒引当金	△8	△8
<b>固定資産</b>	<b>60,176</b>	<b>51,744</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>14,917</b>	<b>12,981</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>625</b>	<b>276</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>44,633</b>	<b>38,486</b>
投資有価証券	15,258	13,618
関係会社株式	25,651	23,194
その他	3,728	1,678
貸倒引当金	△4	△4
<b>資産合計</b>	<b>141,275</b>	<b>132,050</b>

### ●損益計算書

科 目	第118期	第117期
	(平成29年4月1日～平成30年3月31日)	(平成28年4月1日～平成29年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>105,513</b>	<b>99,536</b>
売上原価	74,138	69,636
<b>売上総利益</b>	<b>31,374</b>	<b>29,899</b>
販売費および一般管理費	18,187	17,644
<b>営業利益</b>	<b>13,186</b>	<b>12,255</b>
営業外収益	1,483	1,299
営業外費用	572	292
<b>経常利益</b>	<b>14,097</b>	<b>13,261</b>
特別利益	251	—
<b>税引前当期純利益</b>	<b>14,349</b>	<b>13,261</b>
法人税、住民税および事業税	4,335	3,885
法人税等調整額	△197	△23
<b>当期純利益</b>	<b>10,212</b>	<b>9,400</b>

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科 目	第118期	第117期
	(平成30年3月31日現在)	(平成29年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>29,686</b>	<b>26,435</b>
支払手形および買掛金	15,682	13,922
電子記録債務	6,479	5,676
未払法人税等	2,450	2,395
賞与引当金	1,350	1,265
その他	3,723	3,175
<b>固定負債</b>	<b>2,541</b>	<b>2,141</b>
<b>負債合計</b>	<b>32,228</b>	<b>28,576</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>103,626</b>	<b>99,228</b>
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,282	13,282
利益剰余金	82,463	78,061
自己株式	△2,011	△2,007
<b>評価・換算差額等</b>	<b>5,384</b>	<b>4,208</b>
その他有価証券評価差額金	5,388	4,217
繰延ヘッジ損益	△4	△9
<b>新株予約権</b>	<b>36</b>	<b>36</b>
<b>純資産合計</b>	<b>109,047</b>	<b>103,473</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>141,275</b>	<b>132,050</b>

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●株主資本等変動計算書(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益			評価・換算 差額等合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	利益準備金	その他利益 剰余金(注)							
平成29年4月1日残高	9,891	13,277	4	1,622	76,438	△2,007	99,228	4,217	△9	4,208	36	103,473
事業年度中の変動額												
剰余金の配当					△5,810		△5,810					△5,810
当期純利益					10,212		10,212					10,212
自己株式の取得						△3	△3					△3
株主資本以外の項目の 事業年度中の 変動額(純額)							-	1,170	5	1,175	-	1,175
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	4,401	△3	4,397	1,170	5	1,175	-	5,573
平成30年3月31日残高	9,891	13,277	4	1,622	80,840	△2,011	103,626	5,388	△4	5,384	36	109,047

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) その他利益剰余金の内訳

(単位:百万円)

	圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	合計
平成29年4月1日残高	290	16,976	59,171	76,438
事業年度中の変動額				
圧縮積立金の取崩	△0		0	-
剰余金の配当			△5,810	△5,810
当期純利益			10,212	10,212
株主資本以外の項目の 事業年度中の 変動額(純額)				-
事業年度中の変動額合計	△0	-	4,401	4,401
平成30年3月31日残高	290	16,976	63,573	80,840

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●売上高

(単位:百万円)



## ●経常利益と当期純利益

(単位:百万円)



## 台湾 Evermore Chemical Industry Co., Ltd.の株式取得(子会社化)

当社グループは、2021年3月期を最終年度とする中期4ヵ年計画“C&C 2000”において、「次世代を担う注力分野の育成・投資」を方針の一つとして掲げ、機能材料事業の拡大と海外展開を推進しており、この戦略のもと、自動車や電子材料市場向けのシール剤・接着剤・コーティング剤などの製品開発および販売の拡大を図っています。

そこで当社は、電子材料の主力市場である台湾・中国地域での販売強化、東南アジア地域への展開を見据え、2018年1月、Evermore Chemical Industry Co., Ltd.(日勝化工股份有限公司。以下 エバモア・ケミカル・インダストリー社)の株式を公開買付けにより取得し、子会社化いたしました。

エバモア・ケミカル・インダストリー社は、ウレタン樹脂の高い合成技術と、紫外線硬化型樹脂の設計技術、台湾・中国における電子材料・繊維・靴市場への販路を有しています。

当社グループは、ウレタン樹脂や紫外線硬化型樹脂などの製品開発力の向上を図るとともに、原料から樹脂製品までを一貫生産することにより競争力を向上させ、アジア地域への展開を推進してまいります。



エバモア・ケミカル・インダストリー社本社 (台湾 南投市)



商品群 (ウレタン樹脂など)

## タイに建装建材事業の海外統括会社Aica Asia Laminates Holding Co., Ltd. を設立

当社グループの海外における建装建材事業は、アジア諸国の経済成長に伴う建築材料の需要の拡大に応じ、2011年6月にアイカ・ラミネーツ・インド社(インド ニューデリー)を設立、2014年3月にアイカインドネシア社(インドネシア 西ジャワ州)にチカンペック工場を新設、2017年12月にアイカ・ラミネーツ・ベトナム社(ベトナム ドンナイ省)を設立するなど、メラミン化粧板の製造拠点の整備を進めてまいりました。

このたび、当社は建装建材事業における海外統括会社として、アセアン最大の化粧板消費地であるタイ王国にアイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング社を設立しました。

当社グループは、アイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング社を中心に、ビジネスの現地化を進め、アジア地域における建装建材事業の飛躍的な成長を目指してまいります。



## 新TVCM「化粧板って知ってる？」編の放映

当社は、国内シェアNo.1を誇る主力商品「メラミン化粧板」や塗り壁材のパイオニア「ジョリパット」などの製品で、建築業界では広く知られている一方、一般の方への知名度は十分浸透していません。そこで、より多くの方にアイカ工業を知っていただくために、新TVCM「化粧板って知ってる？」編を制作、今春、関東・関西・東海エリアで放映しました。

当社は、『化学』と『デザイン』の融合を強みに製品開発を進めています。新TVCMは、「化粧板」という耳慣れない言葉からなる男女2人(山本涼介さん、みれいさん)の会話を通して、当社が『化学』メーカーであるとともに、『デザイン』にも関わる企業であることを表現しています。

当社はTVCMの放映をはじめとする広報活動に注力し、当社グループの認知度向上を図ってまいります。

新TVCMは、当社ホームページ(<http://www.aica.co.jp/company/profile/ad/>)でご覧いただくことができます。



## 本社を名古屋駅前JPタワーに移転

当社は、2018年1月、本社を愛知県清須市から名古屋駅前のJPタワー名古屋26階に移転しました。今回の移転により、お取引先とのコミュニケーションをさらに深めるとともに、国内外のグループ会社との連携の拠点として、さらなるCS(顧客満足度)向上と業務効率化を進めてまいります。

なお、名古屋工場内に所在する日本社棟は、建装建材製品の技術棟に改装し、無機不燃材料の試作・性能評価機器や施工試験スペースなどを設置して開発環境を充実させます。稼働は2018年秋を予定しています。



# 会社の概要

〔平成30年6月22日現在〕

## プロフィール

- 社名 アイカ工業株式会社
- 本社 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号  
JPタワー名古屋26階  
電話 052(533)3131(代表)
- 本店所在地 愛知県清須市西堀江2288番地
- 設立 昭和11年10月20日
- 資本金 98億9,170万円
- 事業所

〔生産拠点〕 名古屋工場(愛知県) 甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県) 伊勢崎工場(群馬県)

広島工場(広島県) 茨城工場(茨城県)

丹波工場(兵庫県)

〔開発拠点〕 第一R&Dセンター(兵庫県)

第二R&Dセンター(愛知県、茨城県)

〔営業拠点〕 札幌支店 仙台支店 盛岡営業所

東京支社 埼玉支店 横浜支店

千葉支店 北関東支店 宇都宮営業所

新潟営業所 名古屋支店 静岡支店

北陸支店 大阪支店 神戸支店

京都営業所 広島支店

四国支店 福岡支店 鹿児島支店

### ■連結子会社

- 〔会社名〕 アイカインテリア工業株式会社(愛知県)  
アイカハリマ工業株式会社(兵庫県)  
西東京ケミックス株式会社(東京都)  
アイカテック建材株式会社(東京都)  
アイカインドネシア社(インドネシア)  
テクノウッドインドネシア社(インドネシア)  
昆山愛克樹脂有限公司(中国)  
瀋陽愛克浩博化工有限公司(中国)  
愛克樹脂貿易(上海)有限公司(中国)  
アイカ・ラミネーツ・インドニア社(インド)  
アイカベトナム社(ベトナム)  
アイカアジアパシフィックホールディング社(シンガポール)  
アイカ・ラミネーツ・ベトナム社(ベトナム)  
アイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング社(タイ)  
エバモア・ケミカル・インダストリー社(台湾)

### ■主要製品

〔化成品セグメント〕

外装・内装仕上塗材、塗り床材、各種接着剤、有機微粒子、他

〔建築建材セグメント〕

メラミン化粧板、化粧合板、室内用ドア、インテリア建材、  
カウンター、収納扉、不燃化粧材、押出成形セメント板、他

#### 〔セグメント変更のお知らせ〕

当社は、第117期において「建築材セグメント」「住器建材セグメント」と分けて報告していましたが、第118期より「建築建材セグメント」として統合して記載しております。

## 取締役・監査役および執行役員

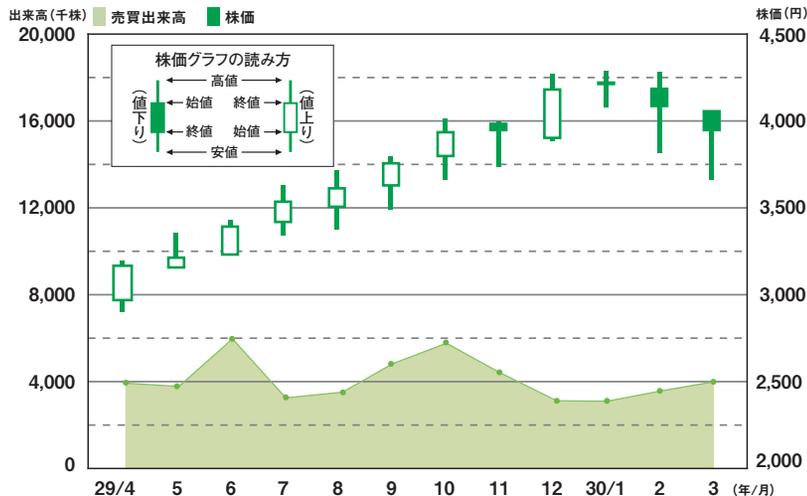
- |                |                             |
|----------------|-----------------------------|
| 〔代表取締役 社長執行役員〕 | 小野 勇 治                      |
| 〔取締役 専務執行役員〕   | 百々 聡                        |
| 〔取締役 専務執行役員〕   | 岩瀬 幸 廣                      |
| 〔取締役 常務執行役員〕   | 大村 信 幸                      |
| 〔取締役 常務執行役員〕   | 森 良 二                       |
| ◎〔取締役〕         | 小倉 健 二                      |
| ◎〔取締役〕         | 花村 淑 郁                      |
| 〔常勤監査役〕        | 岩田 照 徳                      |
| 〔常勤監査役〕        | 小瀬村 久                       |
| ○〔監査役〕         | 加藤 正 和                      |
| ○〔監査役〕         | 片桐 清 志                      |
| 〔上席執行役員〕       | 堀田 益 之                      |
| 〔上席執行役員〕       | 木場 健 夫                      |
| 〔上席執行役員〕       | 岩塚 祐 二                      |
| 〔上席執行役員〕       | 倉本 寛 直                      |
| 〔上席執行役員〕       | 海老原 健 治                     |
| 〔執行役員〕         | Rein Meijer (レイン メイヤー)      |
| 〔執行役員〕         | Chew Teck Liong (チュー テクリョン) |
| 〔執行役員〕         | 天野 利 通                      |
| 〔執行役員〕         | 乾 功 一郎                      |
| 〔執行役員〕         | 加藤 義 昭                      |
| 〔執行役員〕         | 石井 直 美                      |
| 〔執行役員〕         | 吉村 利 康                      |
| 〔執行役員〕         | 西尾 良 治                      |

(注)◎印は社外取締役、○印は社外監査役であります。

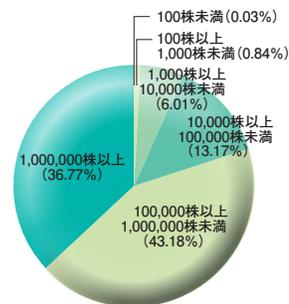
● 発行済株式の総数…67,590,664株

● 株主数…5,163名

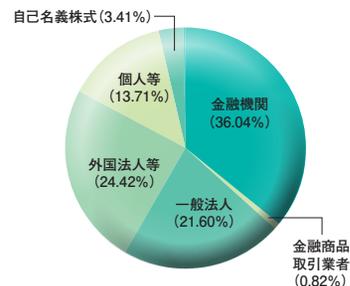
## 株価・売買出来高の推移(東京証券取引所)



## [所有株数別株式分布状況]



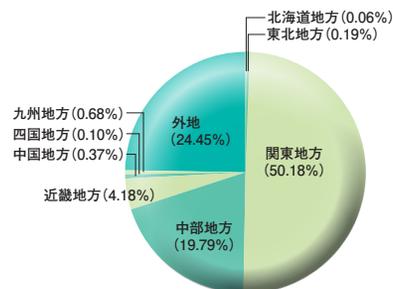
## [所有者別株式分布状況]



## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,972	7.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,452	5.29
アイカ工業取引先持株会	2,078	3.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,707	2.62
アイカ工業株式保有会	1,562	2.39
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	1,335	2.05
住友生命保険相互会社	1,318	2.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,300	1.99
大日本印刷株式会社	1,293	1.98
デンカ株式会社	1,229	1.88

## [地域別株式分布状況]



※当社は、自己株式2,304千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。  
 ※持株比率は、自己株式2,304千株を控除して計算しております。  
 ※株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で「株式会社三菱UFJ銀行」に商号変更しております。

## 株主メモ

■事業年度	4月1日～翌年3月31日
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■定時株主総会	毎年6月
■株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■特別口座管理機関	
■同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
■上場証券取引所	東京・名古屋
■公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL <a href="http://www.aica.co.jp/">http://www.aica.co.jp/</a>

## (ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

## 【株式に関するお手続きについて】

## ●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>●単元未満株式の買取(買増)請求</li> <li>●住所・氏名等のご変更</li> <li>●特別口座の残高照会</li> <li>●配当金の受領方法の指定※</li> </ul>	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> <li>●郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>●支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>●株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[手続き書類のご請求方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●インターネットによるダウンロード <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a></li> <li>●証券代行部テレホンセンター 電話 0120-232-711</li> </ul> </div>

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

## ●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>●支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>●株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

**AICA**

カガクとデザインで面白いこと



地球温暖化防止活動の一環として、この印刷物を作成する際に排出されたCO<sub>2</sub>は、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通じ、環境省で認定された排出権(宮城県米川生産森林組合有林間伐促進森林吸収プロジェクト)によりカーボンオフセットされております。

